

# 速報 4月号 NO. 450

編集・発行 一般社団法人広島県臨床検査技師会  
事務所 FAX 082-502-6031  
発行日 令和6(2024)年3月31日

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人広島県臨床検査技師会



ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>



【報告】第26回 検査部長・技師長連絡会・第43回 広島県臨床検査精度管理向上研修会.....	2
【報告】第41回 広島県医学検査学会に参加して.....	3
第41回 広島県医学検査学会～優秀演題賞を受賞して～.....	5
【研修会】2024年度 第1回 東部地区臨床生理部門研修会.....	6
【研修会】2024年度 臨床血液部門精度管理報告会・第1回血液研修会.....	6
【研修会】2024年度 第2回 東部地区生理部門研修会.....	7
【募集】エコーに関する質問 大募集！.....	7



## 第73回 日本医学検査学会 in 金沢



命を見つめ・未来を拓く

One step ahead

臨床検査

2024年  
5.11(土)・12(日)

石川県立音楽堂 他

学会長 油野 友二 (北陸大学 医療保健学部)

## 【報告】第26回 検査部長・技師長連絡会議

### 第43回 広島県臨床検査精度管理向上研修会

令和6年3月10日（日）、第26回検査部長・技師長連絡会議ならびに第43回臨床検査精度管理向上研修会が広島県医師会館とzoomのハイブリットにて開催されました。

向上研修会に先立って開催された連絡会議では、「精度管理の法改正に対応するSOP（標準作業手順書）」をテーマに病理検査部門ではJR広島病院 清水 文明技師、県立広島病院 矢野 伸太郎技師、生理検査部門ではJA広島総合病院 霜津 宏典技師、広島市民病院 福間 輝行技師が発表されました。SOP作成で困ったことは、書類作成に時間と人手がかかること、SOP作成のメリットは作業手順の統一化、要員の学習につながる、新人や部署配置後要員・学生実習などへの教育ツールとして活用できることが挙げられました。今後の課題としてSOPを定期的に見直し、書類の更新を行う必要があることを述べられました。



臨床検査精度管理向上研修会では、広島県医師会副会長の岩崎 泰政先生より開会の挨拶後、成績優秀施設への表彰、協力施設への感謝状授与が執り行われました。その後精度管理調査結果の評価・解説がありました。

評価・解説の主な事項は、血液部門で単位間違いによるご記入によりD評価となった施設があり、該当施設には、委員がコメントや単位変換方法を記載し来年度に向け注意を促していました。輸血部門では、RhD血液型検査のRhコントロール未実施の施設数が例年と変わっておらず、『Rhコントロールは、検査の有効性を判断するために重要でありガイドラインの準拠をお願いしたい』と強く言われていました。フォトサーベイ血液部門では、細胞名と所見を誤記入している施設があり、注意喚起していました。詳細な報告資料は日臨技ホームページのJAMTQCに掲載されています。

引き続き行われた特別講演では、広島大学病院 検査部 部長・准教授 茂久田 翔先生に「検査だけでは語れない。内科的関節炎治療」について講演していただきました。

内容として、はじめにリウマチ学の総論を説明していただき、次いで関節リウマチの概論、関節リウマチの診断と検査の意義、除外すべき疾患の紹介について様々な論文や自験例を交えながら分かりやすくお話いただきました。講演の中で、関節リウマチは様々な除外診断が必要な疾患であり、患者さんの身体所見から柔軟に判断し、患者さんに寄り添った治療を行っている点が印象的でした。また、膠原病科は様々な角度から他疾患を除外し、診断していく診療科であり、豊富な知識や経験が必要であると改めて再認識できた講演でした。講演の最後に診断においては病歴や身体所見の優先度が高く、検査データは補助的な役割で、診断（分類）後のフォローのために必要不可欠と締めくくられ講演を終了しました。

（広報部 本田明奈 黒島知子）

## 【報告】第41回 広島県医学検査学会に参加して

令和6年2月18日にて呉市広まちづくりセンターにて「次世代が輝く臨床検査を！」のテーマのもと開催されました。今回、4年ぶりに現地のみの開催ということで、会場には298名もの参加者が集まっており、やっと元の広島県医学検査学会が戻ってきたように感じました。



「集まれ広臨技」では副会長の有谿さんよりこれからの学会運営について、広島国際大学特任教授の板羽先生より法改正による臨地実習の変更点についての話を頂きました。これからの学会運営については、地区によって会員数の偏りがあるため北部地区と東広島地区を一緒にして、今後の県学会の会場を5つの運営地区(①広島②東部③北部④呉⑤東広島)から4つの運営地区(①広島②東部③北部・東広島④呉)の順番で回すことになるようです。来年度の広島県医学検査学会は東広島で開催ですが、その次からは①広島②東部③北部・東広島④呉の順で回ることになるそうです。板羽先生からは臨地実習の変更点についての詳細な説明と、学生が将来なっほしい臨床検査技師の在り方等についてお話を頂きました。話の中で、発達障害などで配慮が必要な学生の場合は、実習先の施設に話がいく可能性があるという話が

ありました。学生を受け入れる我々としては、いつでも迎え入れられるよう特性というものをよく理解しておく必要があると感じました。

一般演題は今回、過去最多の21題の演題が集まりました。発表者は若い方が多く、一生懸命発表している姿に私も非常に刺激を受けました。ランチョンセミナーでは、「心不全のフォローアップ検査です。」に何が求められているか?と題して県立広島病院の日高貴之先生より講演がありました。講演では心エコーの画像を中心に心不全の話をして頂きました。呉地区企画3題では、放射線影響研究所の小林技師、広島日赤病院の西村技師、済生会広島病院の奥田技師から発表がありました。それぞれの研究や活動、自施設での取り組み等を話して頂きました。また若手の方へのメッセージとして、チャレンジを続けよう!お互い助け合えるよう他部署とのコミュニケーションを大事にしよう!人や仕事との「縁」の大切にしよう!とのメッセージももらいました。これらは若手の方のみならずベテランまで響くメッセージだったのでないかと思います。



特別講演では、中国労災病院小林加直先生から国産初の手術支援ロボット hinotori™の導入と将来展望～Z世代が輝く未来に向けて～のテーマで hinotori™の実際の運用や手術の様子などの話を伺いました。手術支援ロボットの精度は高く、今後は人の手による腹腔鏡手術よりも、ロボットによる手術支援が主流になってくることが予想されるそうです。

今回は1日のみの開催でしたがその分、濃密な学会であったと思えました。ただ懇親会はコロナ禍が未だ収束していないとのため中止となりましたので、来年度は状況がよくなり懇親会が復活して他病院の方とのコミュニケーションの場が戻ることを願っています。

(広報部 森崎 敬祐)



新時代  
—今こそ臨床検査の真価を問う—

**令和6年度  
日臨技中四国支部医学検査学会  
(第57回)**

会期 2024年**11月2日**土～**3日**日 会場 **とりぎん文化会館**  
〒680-0017 鳥取市向陽町101-6

学会長 **先瀬 浩功** 鳥取県臨床検査技師会 副会長 実行委員長 **木下 敬一郎** 鳥取県臨床検査技師会 事務局長  
鳥取県 鳥取市 鳥取市立第一中学校 教諭

主催：一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会中四国支部 担当：一般社団法人 鳥取県臨床検査技師会  
後援：(公財)たつとつりコンベンションビューロー

学会ホームページ | <https://www.jamt-cs2024.net/>

学会  
事務局 一般社団法人  
鳥取県臨床検査技師会 〒683-0843  
米子市三旗町7-11番地  
E-mail: 2024@jamtrivx.com@gmail.com

運営  
事務局 アクティブ・フロ 〒683-0851 鳥取県米子市豊原1895-3  
TEL: 0859-48-2700 FAX: 0859-48-0600  
E-mail: jamtrivx@cs2024.net

写真提供：公益社団法人鳥取県観光連盟



## 第41回 広島県医学検査学会

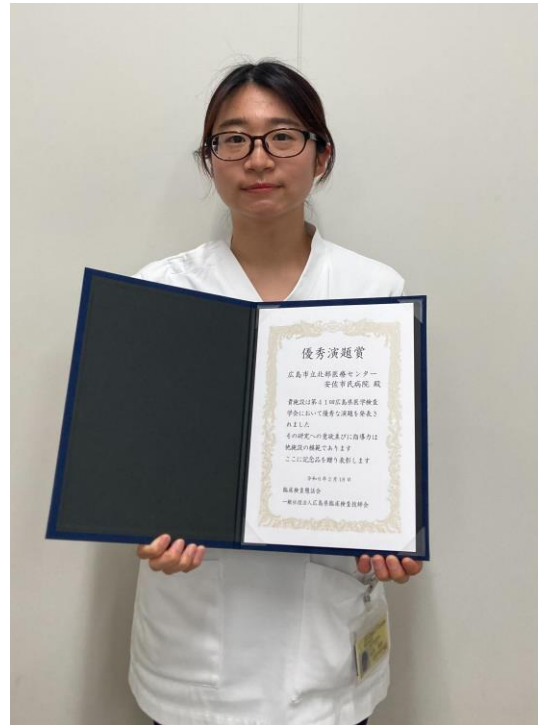
### ～優秀演題賞を受賞して～

広島市立病院機構 広島市立北部医療センター安佐市民病院 臨床検査部 坂野奏恵

この度は第41回広島県医学検査学会で報告した「出血傾向を呈し治療経過より自己免疫性第Ⅴ因子欠乏症が疑われた一例」において優秀演題賞を受賞させていただき大変光栄に思っております。私は臨床検査技師になって3年目になりますが、学会発表をするのが本学会で初めての経験でしたので、受賞の発表を聞いたときは大変驚きました。それと同時に、学会に向け、支えてくださった当院検査部の先輩、同期、後輩技師の顔が思い浮かび、嬉しさと感謝の気持ちでいっぱいになりました。

本演題で発表させていただきました自己免疫性後天性凝固第Ⅴ因子欠乏症は発症頻度が年間0.023～0.09人/100万人と極めて稀な疾患であり、実際に遭遇したのは本症例が初めてでした。また、臨床病態や検査所見などから凝固因子インヒビターの存在が疑われたのに対し、クロスミキシングテストが典型的な上に凸のインヒビターパターンではなく、下に凸の凝固因子欠乏パターンを示し、結果をどのように解釈し、臨床へどのように結果報告をするべきか苦慮しました。最終的に、本症例の患者は治療が奏功し、症状の増悪や再発もなく、現在まで良好な経過をたどられています。しかし、私の中では、当時報告したクロスミキシングテストの結果内容は適切であったのか、また、より早期の段階で診断や治療につながる情報提供ができたのではないかと悔しさが残りました。その苦い経験を糧に、今後似たような症例に遭遇した際にうまく対処できるよう、再度本症例を振り返り、文献収集にもより一層励みまし

た。そのおかげと先輩技師のご指導もあって、多くの知見を得ることができ、日々の検査業務を行う上での自信を身につけることができたと思います。



今回の学会発表では、緊張や不安もありましたが、発表後の質疑応答で貴重なご意見をいただくことができ、また他の演者の方の発表を聞いて初めて知ることもあり、非常に多くのことを学びました。これからも患者や臨床に貢献できるよう、研修会や学会に積極的に参加し、日々研鑽を積んで参りたいと思います。

最後に、審査していただいた先生方、学会実行委員の皆様にご心より感謝申し上げます。

## 【研修会】2024年度 第1回 東部地区臨床生理部門研修会

### ～脳波 脳波測定で気を付けること～

【日時】2024年5月25日（土） 14:00～15:00

【会場】Web研修会（Web配信元：中国中央病院）

【内容】14:00～15:00 脳波検査～脳波測定で気を付けること～  
岡本 哲也 技師（香川大学医学部附属病院）

【生涯教育点数】 20点

WEB研修会において、会員番号の入力ミス等で生涯教育点数が付与できない場合、自己責任となりますのでご注意ください。

【申込み方法】[研修会カレンダー](#)より登録をお願いします。

研修会の事前申し込みは、広臨技会員限定です。

【申込み〆切】2024年5月24日（金）

【レポート提出期限】2024年6月1日（土）

【問い合わせ先】公立学校共済組合 中国中央病院 松田浩明

Email : [matsuda-hiroaki@kouritu-cch.jp](mailto:matsuda-hiroaki@kouritu-cch.jp) TEL : 084-970-2121

## 【研修会】2024年度 臨床血液部門

### 精度管理報告会・第1回血液研修会

【日時】 令和6年6月1日（土）

【会場】 広島市立広島市民病院 10階講堂

【内容】

血液部門精度管理報告会

14:30～ 1. 令和5年度 精度管理報告 ～血算部門～

塔村 亜貴 技師 広島赤十字・原爆病院

14:50～ 2. 令和5年度 精度管理報告 ～血液フォトサーベイ～

河野 浩善 技師 広島市立北部医療センター安佐市民病院

令和6年度第1回血液研修会

15:30～ 3. (仮)Atellica HEMA 関連の話題

池田 尚隆 先生 シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社

16:00～ 4. 私が症例から学んできたこと 荒木 みな子 先生 (前)小野田赤十字病院

【生涯教育点数】 専門20点

【申込み方法】 現地受付

【問い合わせ先】 広島赤十字・原爆病院 塔村 亜貴 [acchafun1101@gmail.com](mailto:acchafun1101@gmail.com)

## 【研修会】2024年度 第2回 東部地区生理部門研修会

### ～心臓超音波検査 整形超音波検査について～

【日時】2024年6月19日（水） 18：30～20：30

【会場】Web研修会（Web配信元：中国中央病院）

【内容】

18：30～19：30 心臓超音波検査～心臓マニアへの第一歩 今一度基本に立ち返ってみませんか～

堤 克英技師（福山市民病院）

19：30～20：30 整形超音波検査～関節エコーの検討中のご施設へ 関節エコーのハードル下げときます～

藤原 基誠技師（公立神崎総合病院）

【生涯教育点数】専門 20点

WEB研修会において、会員番号の入力ミス等で生涯教育点数が付与できない場合、自己責任となりますのでご注意ください。

【申込み方法】[研修会カレンダー](#)より登録をお願いします。

研修会の事前申し込みは、広臨技会員限定です。

【申込み〆切】2024年6月18日（火）

【レポート提出期限】2024年6月26日（水）

【問い合わせ先】公立学校共済組合 中国中央病院 松田浩明

Email：matsuda-hiroaki@kouritu-cch.jp

TEL：084-970-2121

## 【募集】エコーに関する質問 大募集！



東部地区生理部門では2024年度に超音波検査の質問にお答えする研修会を企画しています。心臓エコー、腹部エコー、血管エコーでお悩み等ありましたら、以下のQRコードを読み込み質問を入力してください。  
Q&A研修会は2025年2月を予定しています。



広報部連絡・専用E-Mail < [koho@hiroringi.or.jp](mailto:koho@hiroringi.or.jp) >

次号速報の原稿〆切は 4月 日です

